

## 平成27年度第2回水産研究所研究評価委員会（中間・事後評価結果）

日時	平成28年3月14日（月）9時30分から13時00分まで		
場所	水産研究所2F大会議室		
委員	(大) 三重大学 大学院生物資源学研究所	教授	神原 淳
	(国研) 水産総合研究センター 増養殖研究所	業務推進部長	乙竹 充
	三重県漁業協同組合連合会	指導部長	植地 基方
	生活協同組合 コープみえ	副理事長	松岡 結花里
	北村物産株式会社	代表取締役専務	北村 裕司

### 中間評価 継続予定課題

「みえのもうかる養殖ビジネスモデル確立事業」

項目を研究の進捗、目標達成の可能性、課題の取扱いとし、評価を実施した。結果は下表のとおりで、課題の取扱いでは全委員が「継続して課題を完成させる」との意見であった。

中間評価結果（数字は委員5名中の該当委員数）

課題名	研究の進捗				目標達成の可能性				課題の取扱い		
	計画以上	目標通り	やや遅れ	遅れ	非常に高い	高い	やや低い	極めて低い	継続して完成させる	課題整理・予算縮小が必要	中止すべき
みえのもうかる養殖ビジネスモデル確立事業	1	4	—	—	1	4	—	—	5	—	—

### 事後評価 平成27年度終了課題

「水産技術クラスター構築による水産物高付加価値化促進事業」

「アユの減少要因の解明に関する研究」

目標の達成度、技術の発展性、技術移転・普及の具体性、今後の研究方向について評価を実施した。結果は下記のとおりで、両課題とも、全委員が、目標達成度を「目標以上、目標どおり」と評価した。

事前評価結果（数字は委員5名中の該当委員数）

課題名	目標の達成度				技術の発展性			技術移転・普及の具体性 (複数回答可)			今後の研究方向		
	目標以上達成	目標どおり	一部不十分	不十分	課題として発展性あり	発展性あり	一部の中小課題について発展性は少ない	技術移転の可能性あり	製品化・普及の具体性あり	技術情報として有効	新規課題として未完成技術の発展を図る	未達成課題は継続して完成を図る	課題を終了する
水産技術クラスター構築による水産物高付加価値化促進事業	4	1	—	—	5	—	—	2	3	—	3	2	—
アユの減少要因の解明に関する研究	1	4	—	—	2	3	—	3	3	2	2	2	1